

バラエティ番組に見るジェンダー問題 分析用テキスト資料集

岩田 和男*

2012年度の授業リサーチプロジェクトⅡで、人々の心に現在進行形で存在している「ジェンダー」問題を発見してもらうための実習として、学生たちにしてもらったテキスト分析の資料を、提出してもらったものだけ集めてみた。読み返してみると、資料としての価値は十分あると思うので、ここに掲載する。

実は、この企画は去年の10G生（現在の3年生）との授業から始めたものである。その時にも、資料として集めたいので、文字起こししたテキストを提出するよう求めたが、連絡が不行き届きだったようで、発表用のパワーポイントのファイルしか現在手元に残っていない。併せてここにまとめようにも、いただいたかもしれない紙媒体資料は散逸してしまっている。岩田自身がすぐに作業に取りかかれなかったことが最大の原因だ。10G生の関係者には気の毒な結果となったが、今となっては諦めるしかない。

加えて、今年度分についても、取りまとめが徹底していなかったようで、文字起こしテキストを提出していないチームがあることに、作業に取りかかった段階で気がついた。その分も間に合わないが、今現在手元に残っているだけでテキスト資料集としたい。これからのジェンダーに関する問題発見、現代社会の一断面の生きた資料として利用していただけたらと思う。

他にも、いくつか断わっておくべきことがある。まず一つは、これらの資料を使って、リサーチプロジェクトⅡの学生たちは、張り切って分析し発表してくれたが、残念ながら、ここに紹介しようと思うほどの「問題発見」は生まれなかったし、

面白い切り口も登場しなかったこと。したがって、ここに紹介するのは正真正銘、文字起こしされた資料のみである。学生たちが対象として選んだバラエティ番組は、「メレンゲの気持ち」、「踊るさんま御殿」、「怒り新党」、「さんまのまんま」、「ホンマでっかTV」、「行列のできる法律相談所」の六つで、そのうち「踊るさんま御殿」と「行列のできる法律相談所」は、先述のようにテキストの提出がなかったので割愛する。

二つ目に、番組紹介には基本的に、学生たちが発表で使ったパワーポイントのファイルから借用したものを使用したが、それには参照典拠が付されていないので、ここに明記できない。一般的情報なのでコピーライト上問題はないと思うが、その点を断っておく。一部、情報を岩田が適宜つけ加えたが、その場合には、引用URLを明記あるいは注記しておいた。内容についても一部岩田が手を加えた。その点も断っておく。

1. メレンゲの気持ち

日本テレビ系列 毎週土曜日12:00 - 13:30
11G009 池尾優夏, 11G072 川口綾

番組紹介

久本雅美、いとうあさこ、百田夏菜子、石塚英彦らが出演するトーク番組、日本テレビの番組HPでは出演者以外には、適当な紹介文が見当たらなかったが、『はてなダイアリー (Hatena Diary)』に「世界の片隅で無駄口をたたく」というブログ¹があって、そこに紹介文となりそうなものを見つけたので、ここに引く。

*愛知学院大学総合政策学部教授 ¹ <http://d.hatena.ne.jp/rakoubouzu/20130210/1360513466>

芸能人が過去のVTRを見て恥ずかしがったり、自宅の様子を自ら撮影し家具のこだわりや趣味を披露したり、今話題の食べ物を仲睦まじく食べたりと人畜無害なバラエティ番組。積極的に見るつもりがなくとも何故か見てしまう土曜の時間泥棒二大巨頭のうちの一つだ。

ちなみに、もうひとつの「土曜の時間泥棒」は『王様のブランチ』だそうだ。

番組構成

以下のコーナーなどで、番組は構成されている由。

ピンクの箱 ゲストの昔の写真や品物が出てきてトークをする

自宅公開 ゲストが自分の家を自分でビデオに撮って紹介する

石塚英彦の通りの達人 石塚さんがいろんな場所を訪れ美味しいものを探す

ビューティフルライフ ある有名な方を訪ね、その人の生活や活動について話をする

下記テキストから察するに、他に、「芸能人の私生活見せちゃいます」という、上述の「ビューティフルライフ」に似た、どうも、お笑い系（ある意味では「やらせ」風の）企画があるようだが、検索しても、それへの言及は見つけられず、やはり、見たことのない者にとっては要領を得ず、忸怩たるところありだが、お許しいただきたい。「百聞は一見に如かず」である。

2012年5月26日放送

出演 三ツ矢雄二

「ピンクの箱」

久本 自分がグレーゾーンって気がついたのは、いつぐらいですか？

三ツ矢 南² グレーゾーンって気がついたのはさらっといきましたね。

三ツ矢 人とちょっと違うんじゃないかなって思ったのも、物心ついたときからグレーゾーンでしたけどね。だけど、まあ、

久本 はっきりとは

三ツ矢 わからないわけだし、初恋は女の子だったし

久本 えー！ そうなんだ。

三ツ矢 今みたいにインターネットが無い時代なので、こう、情報がなかなかないわけですよ。で、東京出てきて、一番最初の東京出てきた初舞台が、蛭川幸雄さんの『王女メディア』っていう舞台に殺す役で出してもらったんですけど、出てきたら、今まで自分があれって思ったようなことが目の前で繰り広げられていて、あ、いいんだ、これはいいんだって肯定していいんだ！って思うようになって、グレーゾーンっていう言葉を自分で思いついたんですけど、…

2012年6月16日放送

出演 富永 愛

「芸能人の私生活見せちゃいます」

久本 お母さんと一緒に入ったりしないの？

富永 最近は入らないようにしています。

久本 ちょっと遠慮して？

富永 ちょっと、なんか、男の子だし、自立させてった方がいいかなと思って。

ミッツ³ 7歳でしょ？ まだ早いんじゃない！？

2012年6月23日放送

出演 森三中 大島夫妻、村上夫妻

「芸能人の私生活見せちゃいます」(森三中大島夫妻の自宅公開)

² 特定できなかった人物。アナウンサーかとも思うが、不詳。ちなみに、ここで言う「グレーゾーン」とはゲイのことと思われる。

³ 特定できない人物。

大島 最近ですね、去年くらいでしょうか、韓流ドラマを観てまして、RAINさんという方がですね、の筋肉に、わあっスゲ〜など！！思うようになってきちゃいました」

(写真集見せながら)

夫 どこがイイの？

大島 この腹筋とかさー。ちょっと待ってこれはあんまりなんだよ。だから。もっとね…。

夫 こんな体の人いっぱいいるよ

大島 いないよ。お前自分の体見てみろ！コノヤロー

夫 アントニオ猪木とか…

大島 猪木さんと一緒にされちゃあさ。まあ猪木さんもすごいけど…

(写真集のページをみせながら)

ほら。見て。こういう写真集出せる、あなた？

夫 高田延彦さんが、こういうの…あったけど

(場所変わって)

大島 そして私、こちらもですね、こちら高校から集めております、きのこグッズでございます。トイレだけに置かしていただいています。ね、むーたん？

夫 はい

大島 ね？ 失礼いたします。どーぞ。

夫 こちらになってま〜す。

大島 どうでしょうか。

夫 トイレがきのこだらけです。

大島 どうですか？ こういうところでやっています？

夫 最初ビックリしました。

大島 ビックリしました？ 用を足してて？

夫 うん。

大島 すいませんね。なんか。

夫 うん。

大島 そして見て。木彫りのきのこっていうの

もあるんですよ。可愛くないですか？超かわいい！

なんできのこが好きかって聞いてみたの。そういう先生にね。精神科みたいな先生に。欲求不満なんだって。

(会場爆笑)

夫 昔からでしょ？

大島 うん。高校くらいから欲求不満らしいよ、私。

夫 それじゃあ、用を足してきて下さい。じゃあね〜

村上 今日の朝ご飯は、ホットサンドです。それでは、しゅうちゃん。どうぞ食べて下さい。

夫 いただきます〜す。

村上 ホットサンドは好きですよね？

夫 大好きです。

村上 今日はハムチーズです。ちょっと簡単ですけど。いかがですか？

夫 あの、焼き方が絶妙なんですよ。

村上 はい。はい。今日はかなりいい感じに？

夫 かなりいい感じだね。これは。

夫 何してるんですか？

村上 おにぎり作ってま〜す。今日は、いつもより私、出るの遅いので、ちょっとはりきっております。

夫 知(とも)ちゃんのお弁当がある時は嬉しいです。

村上 ありがとうございます。今日は、しかも、しゅうちゃんの大好きなおかかチーズです。これ。これね。

夫 好きなやつね。

村上 しゅうちゃんの昔のお母さんの味ですか？

夫 そうですね。お母さんは超えましたけどね。味は！

村上 おお！まじっすか。

夫 はい。

村上 ありがとうございます。
じゃあ、お弁当持ちましたね？
夫 持ったよ。
村上 はい。それでは、いってらっしゃい。
夫 いってきまーす。
村上 今日は、じゃあ、何時になるかわかったら、連絡ください。
夫 はい。分かりました。

(その後のトーク)

久本 夫婦げんかとかするの？
大島 夫婦げんかします。
久本 派手？
大島 派手、いや、私が一方的です。やっぱり。
はい。やっぱりね。
久本 何で怒るの？
大島 あの一掃除とか、やっぱり汚くしてるとか。
久島 うん。うん。
大島 男ってなんででしょう。同じこと言っても、繰り返すんですよ！
久本 しょうがないよ。
大島 男って、なんなのあれ？って、思うんです。何回言っても同じことする。
久本 そうだよな。
大島 だから、絶対会議やってるの、わかってるんですけど、電話して、「オイ！水飛んでるぞ！水飛んでるぞ！」
村上 取り立て屋じゃないんだから
大島 「今、今、会議中なんだから」「知らねえよ。水飛んでるぞ！」
夫 いやいや。会議だから。わかった。わかった。わかった。
大島 わかってねえだろ、お前。何回も言うてるぞ。このままだとくからな。もう、もうふかねえぞ。このままだとくからな。
夫 ま、ま、ま、まだ
大島 だから、水飛んでんだよ！

久本 ——、おさむちゃん、ごめんなって謝るわけ？ ちゃんと？
大島 いや、「ごめん」。いや、笑ってるんですよ。私が怒ると反比例して笑うんですよ。
久本 なんかわかる。なんかわかる。

2012年7月7日 小島慶子 吉幾三

「小島慶子の自宅公開」

小島 玄関です。玄関に家族の人数分以上の靴が出ているのは、私は好きではないので、なるべく出さないようにと厳しくお願いしているけれど、自分が出しっぱなしにする事もあります。
久本 素晴らしいですね。ほかになんか許せない、整理整頓のルールってあるんですか？
小島 あるある。夫はわりと、男の人ってそうですけど、自分の身の回りに、こう、いろんなものを積んでいったりしますよね。
久本 する。する。
小島 あれがあんまり好きじゃないので、10cm ぐらい以上になった時に、それは本当にいる物なのか？
吉 えっ！？
久本 チェックしちゃうんだ？
小島 聞くんですよ。もしいらぬならその、その嵩をなんとかしてくれないかな
久本 理路整然と怒るんだ？
小島 やな感じですね。
久本 やな感じじゃないですよ。でも、やっぱ、きちっと、なんで怒っているのかっていうのは、きちっと言うんだ？
小島 そうなんですけどね。なんかね、最近すごくクレームを言われてます。息子達に。
久本 なんで？
小島 なんか、あの、私ね、母親がヒステリックに、「ママは言ったでしょっ？」とかって怒るのが嫌なんです。それで、なる

べくヒステリックにならないようにと思
うと、結果、親父になるんですね。

(会場爆笑)

久本 なる。なる。

小島 リモコンだったら、ここに置いとかない
と緊急地震速報の時にパッと手が伸びた
ときにそこになかったら困るだろ。と
かっていう風に。こう、あの…

久本 男口調じゃん。完全に。

小島 そうなんですよ。お父さんみたいなんで
すよ。

いとう 口調が変わっちゃうんだ。

久本 ね、本当だ。

小島 そうなんです。それが、なんか息子から
は、あの、「やっぱりママには女らしく
していて欲しい」という風に

久本 そりゃそうだよ。

いとう そりゃあ、そーですよ。

吉 でも、男の子でよかったよね。女の子だ
とね、ママの言った通りにしゃべる。

久本 あ、そうだ。

吉 普段しゃべってる言葉。

いとう うつつちゃう。

吉 うちの孫がね、まだ2歳だよ？「まった
くもう」と言いましたからね。

いとう かわいい！

久本 お母さんがいつも言ってるから、まった
くもうー。

吉 腹かかえて笑った。

「ゲストの気になるお店に訪問～韓国料理～」

菅谷大介（日本テレビアナウンサー）・ほんだとも
み（韓国料理研究家）

（葉野菜でお肉（茹で豚）やごはんを包んで食
べる）オススメ料理を食べているシーン

いとう いただきます。ん。

ほんだ いかがでしょう？

いとう まちがない！ 茹で豚、やわらかい！

菅谷 へえ～！

いとう で、すごく甘みがあって、豚自体に、で、
葉っぱ自体にすごく味がある。自力があ
るから、すごく贅沢な一口でした。今。

菅谷 はあ～。

いとう めっちゃくちゃ美味しい！肉味噌いっば
いでもいいかも。

菅谷 あ、本当ですか！？

いとう まあ、あんた、男で小っちゃい葉っぱ取
るね！びっくりしちゃった。

菅谷 やっぱり考えますもん。食べた後のコメ
ント。

いとう 今、（口の中）ぱんぱんになりましたか
らね。

菅谷 それはダメだなーと思って。

いとう ぱんぱんすぎてね。

菅谷 こういうの、丸めてくれる男性っていい
んじゃないですか？（丸めたパンサを
持っていき）どうぞって

いとう わあ～。やられたことないから今、菅谷
さんでもドキドキしちゃう。いただきます
す。

小島 なんkachよっといいですねー。

久本 手も食う勢いだね。

いとう うん。もっと美味しい。

2. マツコ&有吉の怒り新党

制作局：テレビ朝日 毎週水曜日23:15～24:15
11G033 岩野友香

出演者

マツコ・デラックス、有吉弘行、夏目三久

番組の概要

視聴者から日々の怒りに白黒つけるべく、マツ
コが幹事長、有吉が政調会長となって、新たな政
党「マツコ&有吉の怒り新党」を旗揚げしたと
いう設定で展開するトーク番組。「ちょっと腹立
つけど、これ怒っていいですか？」という視聴者
から募集したメールに対して、マツコ・デラッ
クスと有吉弘行が怒っていいかどうかを判定する。

2012年5月9日

夏目 26歳, 女性, 会社員の方です。「私は過剰に運命を感じる人に腹が立ちます。例えば、『この人と巡り合ったのは運命』、『彼氏とは別れたけど、これが運命だったんだよね』とかいちいちドラマチックな雰囲気になっていて正直めんどくさいです。運命なんてものは実際あるかどうか確認できないし、自分の都合のいい時だけ運命を引き合いに出している気がしてイラッとします」。

マツコ 運命…運命感じた事ありますか？

有吉 いやそれが、ないんだよな～

マツコ 私もあんまりないわ～

有吉 仕事なんかしてるとそうだけどね。なんか、でも、ほんとにそういう人って、ほんと無理やり見つけてくるよね、運命を。誕生日が一日違いです、とかさ、同じ…

マツコ 一日違っちゃったほうが、むしろ運命になるのか？

有吉 ねえ！

マツコ あたし、逆に一日違ったらコイツとは縁無いな、ってなるわよ。

有吉 そうだよな。無理やり探してくる人、無理やり探してくるからね。

マツコ それは何の植物なの？

夏目 あ、これですか？ ヤシの木じゃないですかね。

有吉 ヤシの木？ ほお～

マツコ あ、そっか。

有吉 でも、テレビ見てる人で、これで運命感じてる人、いるよね！「俺、ヤシの木好き」。夏目ちゃん…ねえ？

夏目 ありますか？

マツコ どうすんの、そういう時は、あんた？だから…

有吉 言われたらどうする？「夏目ちゃん、俺、ヤシの木大好きなんだよ。夏目ちゃ

ん、運命だよ、これ。結婚しようよ」って言われたらどうする？

夏目 いや、運命じゃないですよ、それは。

有吉 ねえ？ 言われたことはある？ これ運命だねって？

夏目 う～ん、やあ、でも…

マツコ あ～、ない！

有吉 ないよね！

マツコ ない！ あたしな。なんかたぶん…そういう、ありがたがられた事がない！うん、そうかな。うん。

有吉 運命とかいう…言葉遣うやつって、まあ、ああいうタイプでしょ、でも。白馬に乗った王子様が絶対やってくるわ、とかゆってるお婆さん。お婆さんって…

マツコ お婆さんは、あれなんじゃない？

有吉 まあ、若い女の子。

マツコ あれ、白馬に乗った王子様っていうのは、一応は、想定はしたことあるの？

有吉 うんうん、ねえ、そりゃ…

マツコ あ、何、一回は通る、の？

夏目 あたしはなかったですね。

マツコ あ、そう。

有吉 ない。あ～

夏目 うん。

マツコ あたしですら、一回通ったよ。

有吉 あ、通る？

マツコ いや、もうだから、あまり何にもいいことがないから、これは絶対に何年後かわからないけど、絶対にその、ほんとに白馬に乗って王子様が来るとは思っていないわよ。そういう、会うべくして会う人が来る…ために、今あたしには何もいいことがない、という、それぐらいは、それぐらいは思っていないと、やってらんないじゃない！ 恐ろしくなるわよ、あたしの今までのその、恋愛遍歴というか。こんな、こんな、たぶん、みなさんだっ

たら耐えられなくて死んでるよ。あたしの、その、今までの…それぐらい、ほんとにもう悲しいよ、ほんとに。だからあたし…絶対馬鹿にするだろうけど、今でもちょっと思ってるもん。

有吉 王子様来てくれるって？

マツコ うん。あの、50ぐらいになった時に、もしかしたらもう、ものすごい、あの、全面的にあたしのことを好きでいてくれる人、が、目の前に突然現れるかもしれないっていう、どっか思ってるやない、日々生きてられないもん。

有吉 この前、アンガールズの田中もおんなじようなこと言って、「一回田中を経験してみろ」って。「どんだけ辛いかな」って。あはは

マツコ 一回、田中ちゃんに「オカマっていいよね」って言われて、なんか「多少不細工でも、元気で生きてられるよね」って言われて、いや、そこがまだね、アイツは分かってないわよ、まだ。

有吉 あははは。分かってない？

マツコ もう、それまでオカマだろうが、何だろうが、一緒だって！ や、だからもういいや、ほんと、これは、これは言いたい！ あんた達はまだ甘い！

有吉 そうね、そうね。

マツコ まだね、あの～、まとまってるもん、あんた達は、こう、人として、100人の人がいたら、夏目ちゃんなんて、間違いなく90人はOKって言うよね！

有吉 うんうんうん、そうだね。

マツコ あんただって、もう今、たぶん90近いわよ、もう。

有吉 だいぶ、上がってきてますね。う～ん。

マツコ いや、上がってきてるよ！ あたしは、どんなに皆さんからちやほやされたとしても、そこだけは別、ってことじゃない。分かる？ 分かんないでしょ、あんたに

は？

有吉 どれぐらいだと思うの、自分では？ 100人…？

マツコ いや、いや、いやいや！ たぶん100人、その何、その…特殊な人じゃなくて、こういう、ここらへん、こういう所にいる、もう無作為に100人選んだとしたら、1人いたら奇跡よ？

有吉 そー、おかしいだろ。

マツコ いや、絶対そうだって！ だって、あたし、もうね、アイツにもアイツにも、とりあえず、どうだ？とは聞いているわよ。

有吉 どうだ、とはね。うん。

マツコ まーいいよ、って言ってくれた人は、ゼロだね！

有吉 ゼロ…？

マツコ まあ、最初に、いいよとは言ってくれなくても、ま、なんとかね、同情を買うようなことを言ったり、色々やり方はあるんですよ。それで、いいよ、って言ってくれる人すらいなかった。この業界で、まあ1人もいない！

有吉 あ～

マツコ だから、やっぱね、越えなきゃいけない山が多すぎるのよ！ でも、あたしはまだ、分かっているから、自分で。特殊だっていうのは、あたし、たぶんね、田中さんのほうがよっぽど辛いと思う。

有吉 ははははは。アイツの方がさらに？ アイツの方が辛いのか？

マツコ あたし、皆が、まあ冗談だって言うのは分かっているよ、キモイとか、ゆうじゃない？ 田中さんを見て。あたし、ちょっと言えないもん。あの、分かっているよ、それを言われる事で、田中さんもおいしいのは分かっているし、芸人さんとしてはそれが正解なのは分かっているのよ。分かっても、あたしは言えない！ 口が裂けても、田中さんにキモイとは言えな

- いの、あたし!
- 有吉 あはははは、そうか。
- マツコ それは、うん、よっぽどの。だから、変態だけなのよ。あたしがいいって言うのは、変態見つけないのって、大変よ。
- 有吉 意外とね～
- マツコ 意外と大変よ。その、もう堂々とあたしが「はい、変態を募集します」とね。もう、もう、なりふり構わずにね。こんなこんなが、「こんなのがむしろいいと言ってくれる人募集します」と、テレビで言ったとしますよ。あたしは別にいいよって、でも変態さんの方が、「はい、僕、変態です」って言って、「マツコ・デラックスがいいです!」って言って、堂々と出てきてくれる人って、もう「変態」だけじゃないじゃん。ちょっと「おかしい人」じゃん!
- 有吉 あはははは、まあね。
- マツコ でしょ?
- 有吉 なかなかいないと思うね。
- マツコ その…その、こう、ハードルっていうのは、すごいものがあるのよ。
- 有吉 だから、その変態さんが、運命の人だよな?
- マツコ そうなのよ! 大変態よ! もう、どうしたらいいと思う?
- 有吉 いや、だから、それはもう、まさにほんと運命…待つしか。
- マツコ ほら、だから、やっぱり運命の人はいるのよ! ね? ほら! じゃなかったら、生きてけないもん、あたし。運命の人! いるのよ!
- 有吉 信じさせてあげて、ね、信じよう。
- 夏目 これは、じゃあ、え～、過剰に運命を感じる人に腹が立つ。不採用。
- 有・マ 不採用!
- 夏目 不採用でいいですね? はい。
- 有吉 信じようよ。
- マツコ お前に何が分かるんだって、話ですよ。ほんとにもう。
- 夏目 不採用に致します。
- え～、続いて参ります。21歳、女性、学生の方です。「私は書店でアルバイトをしています。私が怒りを覚えるのは、音楽を聴きながら、や、電話をしながら、レジに来るお客さんです。カバーの有無や、袋が必要かなど、何点か伺うのですが、その都度迷惑そうに聞き返され、またすぐにイヤホンをつけたり、電話で話し始めてしまいます。レジにいるたった数十秒、最低限の受け答えのできる状態で来る事ができないのでしょうか? お客さんだとはいえ、横柄な態度に腹が立ってしまいます。
- 有吉 う～ん、いや、まあまあ…いるもんなあ～。
- マツコ やったことはある?
- 有吉 いや、俺はないね。外、出る時、俺、これ、これする…
- マツコ あたし、あたしもしない。あれ自体しないから、やったことないけど、めんどくさいのかな? もう、取るのが。
- 夏目 そうですね～。
- マツコ それとも、もう店員さんに対して失礼みたいなの、あれも無いのかな? もう、無いんじゃない? ま、こっちを擁護するわけじゃないんだけど、最近の、こういうお店側って、色々聞いてき過ぎじゃない? 色んな事聞いてこない? 「カードお持ちですか?」とか、「ポイントカードどうですか?」とか。
- マツコ あ～、なるほどね。
- 有吉 それ…どんなお店でも、色んな、こっちに投げかけてくるでしょ、どんどん。あれ、めんどくせえな、っていう時あるよね!
- マツコ ポイントカードを…持ってたとしたら、

- 出すよね？
- 有吉 そうそう，そうそう。
- マツコ ポイント集めたくてしょうがないわけだから，出すでしょ，一緒に。「お持ちですか」って聞くのって，あれ，何なの，あれ？
- 夏目 そうですね。
- マツコ あれは確かに，毎回毎回聞かれるの，腹立つね！
- 有吉 うん。毎回行く，おんなじコンビニでも，毎回聞いてきたりね！
- マツコ 聞く。うん。
- 有吉 俺持ってないの，知ってるじゃん！，っていう…
- マツコ そうなのよ！ だいたい，夜中いる，あのおっちゃんももう，あたし100回はあのおっちゃんと会ってるからね！ 「おっちゃん，もう，そういうの，大丈夫です。やってませんから」って言うてるのに…。でも，あれは言わなきゃ言わないで，怒られんじゃない？ また？
- 有吉 そうだろうね。うん。
- マツコ だからもう，あの店員さんが悪いわけではないのよ。うん。ま，だから，そこは抜きに考えて…。やっぱり，あの，イヤホン付けてるやつってのは，どーにか，国で処罰できないかね？
- 有吉 そうね！ 道，歩いてる時とか，ね。だめよね，あれ，危ないよ。
- マツコ あの，あの，自転車に乗りながら…ヘッドホン付けてる人って…あれ，あの人達っていうのは，あれは何？ 死んでもいいの？
- 有吉 そーだよねえ！
- マツコ あたし，あれ，文句言えないと思うよ。あれで，事故起きちゃっても。
- 夏目 あれ，自転車の場合って，今は，取り締まりは無いんですしたっけ？
- 有吉 いや，たぶんだめよ。
- マツコ だめ？
- 有吉 だめだとは思うよ。うん，うん。でも，やってるもんね～。
- 夏目 そうですね～。
- マツコ たいがい，あの，イヤホンしてるやつって言うのは…ちょっとおしゃれ気取りだろう！
- 有吉 そう，だからそう。絶対おしゃれ気取り。
- マツコ 何，何，あれ？ あと，その，自転車に乗ってる恰好とかも，絶対になんか機能性だけじゃないでしょ，あれは。よく，ほら，荷物とか，自転車で届ける人達いるじゃない。
- 有吉 メッセンジャーだね！
- マツコ あれ，何で，あいつら，あんなおしゃれしてんの？
- 有吉 そうね，あの，こういうサングラスね，流線形の。
- マツコ バイク便の人は…なんかもう，仕事として割り切ってる，あの～，ジャンパーみたいなもの，着てる人がいるでしょ？
- 有吉 着てるね。うん，機能的。うん。
- マツコ ああいう人は，なんか，もう分るのよ。「ああ，仕事でやってんだよね」って。「別にかっこなんかいいわよね，どうせ汚れんだから」っていうさ。あの，なに，ああいう自転車便。
- 有吉 ね。
- マツコ なんか，それもなんか，ちょっと車に対抗意識あるじゃない，あいつら。
- 有吉 あるある。ある。
- マツコ 何あれ？ 勝てると思ってんの？ あれ，車に，いやいや，いやいやいや，それは分かるでしょう？ だって危ないじゃん！
- 有吉 危ない。だから，この前タクシーの運転手さんと乗っててゆったの，だから。チャリが，こう，スーっとすり抜けて，「どうだ，俺のテクニックは！ すごいだろ

う！」って行くの。運転手さんが言った。「俺らが協力してやってんだよ！」つって。「俺らの協力なかったら、お前、そんな、すり抜けられないぞ、お前ら、馬鹿野郎！」つって。

マツコ いや、分かる！

有吉 うん。みんな、「はいはい、空けてやろう」って、やってんだよ、つって。ほんとはすごいよね～。あれ、ね～。

マツコ あれは、いいの～？ あのまま放置しておいて？

有吉 うん。…あれ、良くないよ。

マツコ なんか、もう、虚栄心でやってんだか、何だか知らないけど。まあ、勝手にやってくれりゃいいけど、お前がそこを満たされてる代わりに、周りが迷惑かけ（られ）てるんだったら、だめだよ～。

有吉 そんな聞きたいかね～。そんな。別に、あれ、音楽聴いてるわけだからね～。そりゃ、競馬中継でも聞いてりゃあさ、大事なところだから外せない、なら分かるけど、音楽でしょ？ いつも聴いてる……

夏目 そうですね。

有吉 そりゃ、外しゃあいいじゃんね、それぐらい！ 店員さんとのやり取りぐらいね！

夏目 やっぱ、やり取りがめんどくさい、っていう時代なんですかね～？

有吉 うん、あ～、そういうことか……

夏目 う～ん……

マツコ いや、でも、それだけじゃないと思うんだよね、あいつらの意識って。周りに影響受けずに、常に、こう、音楽を聴いている自分っていうのが……。ちょっと、なんか、あれで、ちょっとなんか、世の

中に喧嘩売ってるつもりなんじゃない？

有吉 「街はクラブだ！」みたいな？⁴

2012年5月30日

夏目 27歳、女性、主婦の方です。「私の怒りですが、それは、わざとらしい女です。会社の人たちと野球観戦に行った時のことです。ホームランが入って、周りが盛り上がってる中、『今のは何ていうんですか？』とか、『アウトってなんですか？』などと、わざとらしく、スポーツを知らないアピールをする女がいるのです。『知らない』アピールをすることで、男性社員に事細かくルールを説明してもらい、彼女は満足気でした。なぜ男性は、こんなウソみたいな女性にすぐダメされるのでしょうか？」

有吉 そうかな？

マツコ やっぱり、だって、自分からさ～、ぶりっ子のおねえちゃん引き留めてさ～、ビールひっかけてさ～、「今日のこの監督の采配はねえな～」って言う女よりも、「わかんな～い！」って、聞いた女の方が可愛いでしょ？

有吉 両極端すぎてね～？

マツコ そうね。

有吉 まず、サッカーウィークだっ、つってんだよ。野球やめろ。

マツコ サッカーの話しないで、って言ったでしょ。私も思ったけど言わなかったのに。あえてサッカーの話は、いくらでも触れようと思ったら触れられるわよ、これ。まあ、だから、ダメしてるわけじゃないんだよ。

有吉 そうそう、そう。

⁴ イヤホンをつけた客に対する苦情に関するやりとりから、ジェンダーの問題を掘り起こす作業は、間接的にすら難しいが、このまま載せる。

- マツコ やっぱ、な～に、いいじゃん。その需要と供給の世界なんだから～。男がかわいいな～、って思う女演じるのって、私、悪いことだと思わないんだよね。いいじゃん。だから、みんなで解禁すれば？
- 有吉 男も、やっぱ、タイプによるよね。野球見に行つて、ある程度知つてくれる方がいいな～、って思うときと……
- マツコ あっ、そう？
- 有吉 ある程度、なんか、その、情報、見てるもの共有したいから、なんとなく。
- マツコ でも、それってさ～、その場合の女つて、そういう対象ではない人でしょ？
- 有吉 まあ、そうかもね。
- マツコ みんなで今日は、野球がつつり楽しもうよ、っていうメンバーに選ばれる女でしょ。
- 有吉 まあ、そうね。
- マツコ そうなの、言つてんじゃないよ。
- 有吉 そ～か～。
- マツコ 本音で話さないよ。
- 有吉 でもね～、男も、やるよね～？
- 僕とか特にそうだけど、先輩とかだと、昔の芸能界どうだったんですか？みたいな、知つてる情報とかあるけど、知らないふりして「えっ！ 初知りでした、そんな、えっ～～！」とか。僕、意外にやるほうだけだな～。
- マツコ あんた、そんなことしてんの？
- 有吉 僕、意外とやるほう。僕、自分の知つてる情報でも、向こうが気持ちよさそうにしゃべっ（欠落：てる時には？）。
- 入り（他人と知り合いになる、導入部の意か）、大事だからな～。
- マツコ 入り、大事よ～。
- 有吉 入り、大事。
- マツコ そう、だから、その、彼女も一緒でさ～、
- そんなときはいいけど、それずっと続けること不可能だよ、男の前で。そんなときの落差で、男が失望すること考えたら、その入りつて、本当はよくないのよね～。
- 夏目 たしかに、どんどん自分、苦しめちゃいますよね。
- マツコ やつたことある？
- 夏目 いや、私まず…あります。
- 有吉 この人もそうだけど、知つてのに知らないふりしてる、ってことだよな。
- マツコ 絶対そうだって、で、言われてる方の男も、分かつてるわよ。
- 有吉 うんうん、うんうん。
- マツコ アウト知らねえはずねえよ、この女、つていう。でもね～、可愛いのは、やっぱ、そこが。誰しもがやれることではないんだけど、自分がちょっと小奇麗だな、つて思つてる女は、ちょっとしなだれて「教えてくださ～い」つていうことつて、世の中を潤滑に回すために必要なことよ。
- 有吉 よくねられてんだけど、田中みなみつていでしょ。
- マツコ あれはイヤよ。あれがどうか、つて言われたら、あんなんオッケー、つて言つてる男は、私オッケー、つて言つてるレベルだからね。ホント。あれで興奮する、つて言つてる男はド変態よ。ホントに。あ、だから、別に、なに、田中みなみのこと、大っ嫌い、みたいに思われてるんだけど、好きか嫌いで言つたら、嫌いよ。でも、そんな、あれをねえ、もし、わかつてやつてるんだろうから、もちろん。あれをさ～、この女子アナブームがもう終わったとされる昨今、今あれを仕掛けてくるつて、私、そこの心臓の強さだけは、すごいと思うんだよね。
- 有吉 うんうん、うんうん。
- マツコ でも、嫌いよ。うん、好きか嫌いで言つたら、大っ嫌い。大っ嫌い、つて言つ

ちゃった。嫌いだけど、あの…、すごいな～とは思ふ。あの、遠目で見たいタイプ。田中みなみ、好き？

有吉 僕、嫌いって言っちゃうと支障があるけど、僕、何とも思わないから。

マツコ じゃ、田中みなみが、二人っきりで、あそこまでデフォルメされた形じゃなく、ちょっと有吉さんを頼りにしてきたら、どう？

有吉 そりゃ、好きになるよ。

マツコ ほらね。

夏目 結局、そうですね。

マツコ 結局、そうなのよ。結局、そうなのよ。もう、なんてレベルの低い国だ、ホント。大事なの。田中みなみは必要悪なの。

夏目 これは不採用ですね。

有吉 はい。

3. さんまのまんま

フジテレビ 毎週土曜日12:00～12:30

11G008 飯田 雅也 11G017 井嶋 慶也

11G164 中山 秀平

番組の概要

「フジテレビ 番組基本情報 さんまのまんま」より

好感度 No.1の明石家さんまと、さんま宅へ、毎回訪問するゲストのプライベートな話を覗いてしまおうというトークバラエティ「さんまのまんま」。毎週豪華ゲストが登場し、さんまのトークに負けてしまうのか、ついプライベートな話までも。料理をし始める人や、ギター片手に歌い始める人など、「さんまのまんま」の歴史は深い。この番組がきっかけで、思わず結婚してしまったり、冗談で言っていたことが本当に実現したりと、さ

すがさんまの人望は厚い！⁵

2012/2/25放送（関西）

出演者：明石家さんま、浅野温子

さんま ええ、今日はわたくし初めて、お会いするとは思うんですけども、ちょっと緊張しながら迎えたいと思います。

ピンポン

さんま はい、これはこれは、どうもどうも、こちら。

浅野 どうも～

さんま 会ったこと、ありますよね？

浅野 会ったことは……、すれ違ったこと、あります。

さんま そうですよ。

浅野 そうです。

さんま その時ちょっと、挨拶させていただきましたよね。

浅野 いや、私もさせていただきました。

さんま ですよ。よかった、俺の記憶正しかった。

浅野 でも、お話はしてません。

さんま いやいや、『スローなブギ』めちゃくちゃよかったですよ、っていう話はしましたよね？ してませんか？ してます。

浅野 本人には来てません。

さんま えっ？きてません？ いやいや、その時に喋りました。

浅野 だって、ういっす、ういっすって、それだけですもん。

さんま いや、そんなことはないですよ。

浅野 いや、ホント、ぜったいそうですよ。

さんま いやいや ぼくの憧れの人ですから。

浅野 わたしも、だって、さんまさん、はあ、目合わせちゃいけない、と思って。

さんま なんて目合わせちゃいけない？

⁵ http://www.fujitv.co.jp/b_hp/smanma/index.html. 内輪ほめの、宣伝臭の強い自己紹介だが、中味の概略は理解できるので、そのまま引く。

- 浅野 その時、さんまさんって、目合わせると女の子を妊娠させる、みたいな。
- さんま させない。させたいわ。あの、なにお飲みになりますか？
- 浅野 ホットコーヒー、お願いします。
- さんま ホットコーヒーか。すごいですねえ、これは。でも、本番でこうして喋らせていただいたりするのは、ホントに初めてですよ？
- 浅野 初めてですね、ほんとに。
- さんま 長いことかかりましたよ。『スローなブギ』は今（から）何年前ですか？
- 浅野 ええっと。年がわかるから、言いたくありません。あらっ、こぼさないで。
- さんま こぼれてない方を差上げます。
- 浅野 ありがとう。
- さんま せやろな、絶対わがままやろうな。
- 浅野 えっ？
- さんま いえいえ。あの、どういう女性かな、と思ってね。あっ、すいません。
- 浅野 プレゼントでございます。
- さんま 気を遣わせまして。
- 浅野 ええ、ホント。最近、写メとるのが好きで。お花の写メとるのが好きで、ええ？なんで？
- さんま お花の写メ？ わあきれい。はあ、これが全部あの浅野さんが撮られたやつなんですか？
- 浅野 そうです、すいません、すいません、すいません、すいません。あの、一番後ろのそこ、こうやって、こう書いてるの、それ、ずいぶん抜かしてくれましたね。ホントに、困ったわ。
- さんま いや、困ったわ、じゃなしに。これ、うれしいのかな。いや、これ、浅野あつこさんのサインは、ものすごいうれしんですよ。あと、これ、いや、あの、すいません。あの、そんなにお花が好きでいらっしゃいますか？
- 浅野 ええ、何か文句でも？
- さんま 文句はありませんけども。
- 浅野 ああ、おいしそうない。ありがとうございます。あは、あの、私の……。
- さんま また、この、お花のですか？
- 浅野 今回の、お花のを、武田鉄也さんと一緒にやらせていただきますので。
- さんま こないだ、武田鉄也さんが、違う番組で、これ、おっしゃってたんですけど、博多でしかやらないんですよ？
- 浅野 ええ、博多座が発信なんで。博多座さんが主催してやって下さるので。
- さんま ああ、なるほど、なるほど。もったいないですね、東京もやられたら。
- 浅野 ひと月もやらせていただく…。これ、ホントにおいしいですね。
- さんま それはないでしょう。
- 浅野 えっ！何が？ でも、おいしいよ、飲んでみ？
- さんま そんな、おいしい、おいしい、って…。
- 浅野 えっ、なんで？ おいしいよ、これ。
- さんま すいません、僕に、ほんまや、を言わせていただけないでしょうか。すいませんけども。これはすごいですね。時代劇で101回目のプロポーズをやるんですよ。客席、知ってる？ 101回目の。もう、あれもかなり前ですよ？
- 浅野 そうですね。言わないよ。
- さんま いやいや、ちょっと、ちらっとヒントぐらい与えていただいても。いや、でも、いつまでも若くて、きゃわ、かわいいですよ。
- 浅野 きゃわいい？
- さんま ホントにかわいいですよ。
- 浅野 ありがとうございます。
- さんま もう、いま『スローなブギにしてくれ』という映画。やっぱ、あの、一生忘れられないくらいの衝撃。
- 浅野 それしか覚えてないでしょう？ 見てな

いでしょう？

さんま 「いやいや、101回目も見ましたし、W
浅野も見てましたよ。『スローなズギに
してくれ』は、あれ、デビューですか？

浅野 じゃないです、じゃないです。その前に
私は、あの石井聰互の、あの『高校大パ
ニック』っていう、日活で。

さんま やってらっしゃったんですか？ すっか
りデビューやと思ってました。あの汽車
のシーン、かっこよかったですね。

浅野 汽車ってなんだっけ？ ごめん、汽車、
ないと思う。

さんま ウォンチュー♪でしょ？

浅野 そうよ。

さんま 汽車のシーン、あったじゃないですか。

浅野 どこに？

さんま どこに……。帰ってみてください。あり
ました、ありました。汽車のところで、
なんか、髪をなびかせてた浅野さんを、
びっくりして、「うおっ、きれいな人やな」
と思ったんですから。あります、ありま
す。俺はもう、はっきり覚えてますから。

浅野 汽車じゃないと思うな。

さんま いや、汽車ですって。

浅野 汽車じゃないと思うな。他のじゃない？

さんま 俺、あっこで虜になったんですから。

浅野 汽車で？

さんま 車で。会いたい、会いたい、と思っ
たら、もう30年近くお会いできなかったも
のですから。

浅野 えっ？えっ？ 去年？ 去年？

さんま 若いですね、でも。

浅野 去年ですからね。

さんま 去年も長い去年ですよ。

浅野 さんまさん、私、昨日、床上げたばっ
かりで。お病気なんで、あまり複雑なこ
とやわないでください。

さんま 昨日？

浅野 そうなんですよ。今日、声が変でごめん

なさい。

さんま あ、風邪？

浅野 うーん、風邪ね。一本ちょっと仕事終わっ
て、気、弛んだら、いきなり。

さんま もう、ね。そういうもんですよね。

浅野 ねえ、さんまさんて、いつ休むの？ 思
わない？ みんな、ずっとでしょ、いつ
休むの？

さんま ホントに。自分でも振り返って怖い。

浅野 でも、そうしたら、からだは？

さんま からだは、今のところ、一回も、病院行っ
てないんですよ。

浅野 風邪もひいてないの？

さんま 風邪は、引いた感じですけど、次の日に
は持ち越さないんですよ。一日で、大体
半日で治る。

—CM—

浅野 この番組、28年だった？

さんま そうですね。

浅野 28年でしょ？

さんま 28年ぐらいたちますね、はい。

浅野 あの、徹子の部屋が、30何年だった？

さんま 30何年はすごい記録ですからね。

浅野 でも、それに次いでんだよ。

さんま そうですよ。

浅野 ね、すごいよね。

さんま ただ黒柳さんの場合は、すごい技術のあ
る人ですから。言葉に感情がなくてもい
いじゃないですか。

こないだね、黒柳さんのこと、注意した
んです。あまりにも、僕ら、真剣に、「浅
野さんきれいですね」とか、真剣に、「風
邪大丈夫ですか」とか。黒柳さんは、
「ああ、そうでございますか」、「ああ、
そうでございますか」。あの、お片付け
になるんで、さかなくんが、かわいそう
で、かわいそうで。もう仕方がなかった
です。「ぎよぎよっ」、「そうございま
すか」とか言うて。ダジャレを全部スルー

したという。あんな地獄を味わったさかなくん。

だから、あれは、一つの司会者の技術ですよ。あれね、タモリさんと黒柳さんで、すごいんですよ。我々、流せないんですよ。僕とか、たけしさんとかは、あの、舞台芸人の人は、前のコーナーがだめだと引きずるんですけど、あの人たち、引きずらないんですよ。

浅野 かもしれないですね。

さんま スパーンと割り切ってはるんでしょうね。

浅野 でも、こういう番組に慣れてない人は、救ってもらわないと。すごく、やっぱり、辛いよね。

さんま 浅野さんなんかは、あまりおトーク番組、お出にならないですよ？

浅野 そうですね。あまり、出ないですね。

さんま 喋るのが、あまりお好きじゃない？

浅野 いや、好きじゃないじゃなくて、へたくそだから。

さんま 今、来たばかりですけど、十分ですよ。

浅野 でも、それ、相手によるよね。でも、そういうの、ないですか？ だって、さんまさんだって。

さんま それは、名前を挙げれば、どうしようかと思う人が、もう何人もいますよ。まあ、僕の場合、人から聞くと少ないです、苦手な人が。

浅野 すごいねえ。

さんま だから、所さんは、「さんちゃん、えらいねえ」って。「もう、嫌いな人でもちゃんとやるじゃん」って。

浅野 嫌いでしょ？

さんま 好きですよ、ホントに。大好きです。憧れですよ。

浅野 言っている？ さっきから、そこ言えればいい、と思ってない？

さんま ちゃう。ホントホント。噂で聞いたで

しょ。僕、大好きだって、噂は聞いたでしょ？

浅野 全然。

さんま いや、でもホントですよ。それはもう、出てこられた当時から今でも、ホントに。今日、僕、間違い起こすことができますもん。

浅野 何を？

さんま 間違い。

浅野 間違い？

さんま ええ。

浅野 ゆう子ちゃんとか？

さんま 違いますよ。何をおっしゃってるんですか。二人の間。

浅野 二人の間ね。だから、さっきから目、合わせないんだ。妊娠させちゃうから。みんな、目、見ちゃだめよお。危ないからね。だめよ。

さんま 妊娠しちゃうよお。誰の子だろう、これ。花粉やん、それ。結婚生活は、幸せに暮らしていच्छるんですか？

浅野 まあ、あの、さんまさんと同じくらい。

さんま バツイチですか？

浅野 じゃない、です。

さんま 僕と一緒になら、バツイチじゃないですか。

浅野 この間、ご一緒させていただきました。鶴瓶さんの。あの鶴瓶さんの。鶴瓶師匠の。

さんま あのアシスタント？ あれ、誰も浅野さんのお子さんやと思ってないですよ。

浅野 えっ、違う。鶴瓶さんの、さんまさんのお子さん。

さんま IMALU？

浅野 うん。

さんま びっくりした。俺、IMALUの前のモデルの女の人が、いま、あの、浅野さんのお子さんやと思った。

浅野 IMALUちゃんがやってる時に、ご一緒させてもらったの。

さんま 仕事を？
浅野 そう。
さんま あ～、なるほど。どうもお世話になりました。
浅野 ああ、いえいえ。どうもこちらこそ、お世話になりました～。
さんま すいません、ほんとに。
浅野 ええ。あ、知らないの？
さんま あんね、娘のテレビ、もお、見ないようにしてるんです。いやいや、粗が目立つからね～。あの～、見たら文句言いたくなるの。「あそこで被せな」とか～。「あそこは溜めて溜めて、これや」とか～。だから、娘が出たら、パッとチャンネル替えますよ。もお、絶対注意したくなるから～。
浅野 ほんと～？
さんま ええ。そういうもんなんですよ～、これは。
浅野 でも、良いね～。なんか。
さんま いや、良いのかどうかですけど。子どもってやっぱり、心配なもんですからね～。早く結婚してほしい。前は結婚してほしくなかったんですけど、今は早く結婚してほしいですよ、もう。も～、なんかええの見つけて。
浅野 誰でも良いの？
さんま 誰でも良くないですよ！
浅野 でしょ？
さんま お笑い芸人が、「IMALUさんと結婚させてもらいます」言うたら、多分、僕はニュースに出るでしょう、殺人事件として。
浅野 でも、でも、確率としては大きいでしょ？
さんま 芸能界って・・・からね～
浅野 で、やっぱり、お笑いの方って、今、凄く多いじゃないですか。
さんま 多いです、多いです。
浅野 多いし、ね。勢い良くて、こう、さあ、

さんまさんみたいに口が上手くて。
さんま 口が上手くてっ。
浅野 (そういう人)が来たら、IMALUちゃんだって、「ん～、パパに似てるしい、良いかな～」みたいになってさ。
さんま あのIMALU、そんなしゃべり方じゃないです。あの～……、良いかな～。あの～、そんなんじゃないです。でも、まあまあ、僕もお笑い芸人として結婚してる訳ですから。IMALUが選んだ人はしようがないでしょうけども、ん～、お笑い芸人で許せる人、誰やろな～？ たけしさんも嫌やしな～。紳助、嫌～。所さんも嫌やな～、やっぱな～。
浅野 何で、そんなさ～、年齢高い人ばっか、言うの？ IMALUちゃんだよ？
さんま 分かってますよ。いや、安定あるの、この3人か4人じゃない？ 将来、もう見えてるのが。あと、ほとんど見えないですよ、将来。お笑いなんて。やっとな、これくらいでしょう。
浅野 あ～、深刻だね。
さんま まあ、深刻やけど。まあ、多分大丈夫だと思います。お笑い芸人には、もお網張ってますから。
浅野 あ！パパが？
さんま ええ。
浅野 会うなって？
さんま もお、会うなって。
浅野 手え出すなって？
さんま 「IMALUだけは分かるとるやろな？」っていうような感じで。そりゃそうやろ。まっ、お笑い芸人もよう声掛けない。ええ、「ごはん、行きましょう」とか、あの、「飲みに行きませんか？」っていうのは、誰も言っていないと思いますねえ。
浅野 ああ、そう？
さんま ええ。
浅野 (客席に向かって) そうだって～。

さんま かわいそうですから、本当に、役者も、嫌でしょ～。

浅野 ああ。

さんま 浅野さん、「この男は良いよ」っていう、推薦する役者います？ 結婚相手の推薦できる子ですよ、いないでしょ？

浅野 ちょっと、1年くらい考えさせていたいただきたい。

さんま そうでしょ。1年考えなきゃ出てこないでしょ？ ねえ。共演なさる武田鉄也さん、すごい、ええ人やけど、家族になると、嫌じゃないですか。（客席に向かって）そおやろ？ 俺が言うてる意味、分かるやろ？ だって、武田鉄也さんて、ここにいたら、ものすごい良い人で、面白い人やと思うけど、家族になると、絶対嫌じゃないですか？ でも、もお、勉強になるでしょ？ いろんなこと知ってらっしゃるし。

浅野 ん～。あの、色々ね、知識、こう、言うんですけど、もお左から右に、右から左で……。

さんま 聞いてあげたらどうです？

浅野 いや、聞いてんだよ、あたし！ すごく真面目に聞いている！ でも、1時間後、全部覚えてないの。ほら、あたしはバカだから、全然覚えらんないの。

さんま でも、今、毎日会ってるでしょ？ この稽古で？

浅野 会ってないよ。

さんま え！？（立ち上がって笑う）

浅野 え？ 何で？ え？ 何で？

さんま 会うじゃない。

浅野 あ、これからね。

さんま あ！ まだ稽古、始まってないんですか？

浅野 うん。

さんま え？ 3月2日からでしょ？

浅野 そおだよ。

さんま もう、これ、収録2月のこれ、もう中旬ですよ。

浅野 そおだよ。

さんま え？ そんなことあるんですか？ こんな？

浅野 いや、あたしも知らな～い。いや、あたしも、だって初めてだもん、こんな短い。だから、へえ～怖～い。

—CM—

浅野 コーヒー、ねえ、冷めてきたね。

さんま これも、置いたままです。まだちょっと、こっちの方が温かいです。

浅野 ええ、普通、あつため直すよね。

（さんま、無言でコーヒーを温めに行き、その場で）

さんま いや、どんな私生活とか、何してらっしゃるのか、全く見えないですよ。

浅野 写メ。

さんま ああ、そうか！

浅野 うん。

さんま へえ～、これはでも、どちらに行かれて、これを撮るんですか？

浅野 も～、本当に決めないで、おらっぶら、おらっぶら。

さんま はあ、これは、何という花なんですか？ これ、紫のやつは？

浅野 知らない。

さんま 絶対無理。絶対無理やわ。

浅野 何が？

さんま 絶対無理、結婚生活。

浅野 え？

さんま 絶対無理。

浅野 大丈夫。目、見なきゃ。

さんま あ！ 綺麗で、撮ってるだけで、これをまた、調べようとはなさらないんだ。

浅野 そう、そう。佐野史郎さんに「最近ね、花の写真、撮ってんだ」って言ったら、「いやあ、良いねえ。それで、花の名前、調べて、それで細か～く分類して、こう、ちゃんと、あれしてるんでしょ？ 良い

ねえ。そういう趣味良いねえ」って言うから、「いや、別に。写真撮るだけ」って言ったら、すごい佐野さんが嫌～な顔して、なんか、そこから、なんか、あんまり口聞いてくれなくなっちゃった。

さんま ええ。なんか、分かります。今、僕も、本番中やから、こう、一生懸命しゃべってますけど、あの、「私生活、何や、この女！」って思ってますよ。

(浅野、無言で、コーヒーを温めているさんまのほうに、後ろから近づく。気づいたさんま、驚いて逃げる)

さんま いや、返してください。好きですよ、本当に。もう温まりました。でも、あの「花鳥風月」っていうのは、こう、歳とっていく、あれや、と言いますから。

浅野 え？

さんま 要するに、年寄りに向かっていく最初の入り口が、花とか、あの言う・・・

浅野 さんまさん、花、好きなんですってね？

さんま ううん。

浅野 え～！？ 言ってたよ、スタッフの人。「お花、好きなんですよ、さんまさん」で。

さんま はあー！ (倒れるふりをする)

さんま お前ら！ 勢いに任せて嘘を言うな、アホ！ なあ、そんなに浅野が怖かったのか？ 自分らの家のベランダとかに花は？

浅野 ない。

さんま え？

浅野 他人様の。

さんま 何で、何で写メだけ？

浅野 他人様の丹精込めたお花をパシャッ。こないだも、他人様が丹精した、あの、柴犬をちょっと。

さんま 柴犬を？

浅野 かわいい・・・

さんま 丹精込めて育てた柴犬を、写メ、撮った？

浅野 いや、その時は夜だったんで、写メ、撮

れないから。

さんま ちゃうやんか。何ですか、その柴犬は？
浅野 いや、かわいいから、触りたいなあと思って。でも、柴犬って、本来そういうの、凄く嫌がる犬なんだって。

さんま ああ、他人が触るのを？

浅野 そっ。ご主人様には忠犬だけでも、他のとはあんまり。

さんま ほな、家でも動物飼ってらっしゃらないんですか？

浅野 うん。

さんま あ、飼ってないんですか。

浅野 うん。飼うくらいなら、あたしを飼ってほしい。面倒を見てほしい。

さんま いや～、柴犬みたいな人ですよ。なんか、もう、うんこ、し放題の犬でしょ？

浅野 あのね、出さなくなるんだよ。

さんま え？

浅野 こうやって、出しちゃう子っていうのは、それを表現するでしょ？

さんま はいはい、はいはい。マーキングみたいな。

浅野 だけど、そういう子っていうのは、反対に出さなくなっちゃってから、自分だけで閉じ込めちゃう。かわいそう。

さんま 頭良すぎて。2日くらいほっといたら、おしっこまき散らす犬とは違うんだ。

浅野 みたいだね。よくは知らないけど、話だと、そうらしい。

さんま はあ、よく知らないのに、よく語りましたねえ、今。

浅野 なんか、ねえ、やっぱ、その話聞いただけでも、キュン来ない？

さんま 来ない。

浅野 あっ、そ。

(静まり返る)

浅野 おいしいね、コーヒー。

さんま おいしいでしょ。温め直しましたからね。

浅野 ありがとうね。

さんま 1月、武田さん、大変やろ～なあ。あの、
すいません、ぶつかり合いません？ 2
人は？ 大丈夫ですか？ 平和に暮
ら…、あ、そうか。ドラマで一緒にやっ
てらっしゃいましたから。

浅野 うん。ほとんど会わなかったけどね。

さんま え？ あの…。

浅野 ドラマの時、あれって、ホントにすれ違
いのドラマなんで。

さんま あ、そうか、そうか。

浅野 そうなんです。だから、1番最初に、あの、
見合いのシーンを撮って。それで、最後
にウエディングドレスで迎えに行くっ
て。それくらいが、ほとんど、大きくは、
あって。間に1回、その、ほら、武田さ
ん、あの～、名台詞の「僕は、死にましえ
ん」を。あれがあるくらいで、あれから
はほとんど会ってない。結婚するまで。

さんま そしたら、まだ稽古も始まってないし、
そんなにまだ深く知り合いじゃないんで
すね？

浅野 さんまさんほどはね。

さんま 僕が武田鉄也さんと知り合ったら、嫌な
んですか？ それは、ねえ。

浅野 え？ 嫌いなもの？ 武田さんのこと？

さんま 好きや、言うてますやんか！ な、なん
で？ あなた、おかしな話しますねえ。
大好きですよ！

浅野 じゃあ、伝えとくね。

さんま 伝えなくていいですよ。いやいや、伝え
て、伝えて。伝えてください。

浅野 どっち？

さんま 金八っ子になりたかったくらいですか
ら、僕！

浅野 え？

さんま 金八っ子！

浅野 ……

さんま 振り向いたら、マネージャーがナイフ
持ってません？ ねえ？ 「何してん
の？」「いや、ちょっと」とか言うて。
浅野 見えてるもん。
さんま え？
浅野 はい。ああ、今やってるなあ、みたいな。
さんま 「刺そうとしてるなあ。私を後ろから刺
そうとしてる」なんていうのが分かるん
ですか？
浅野 分かる。うん。
さんま 凄いなあ。やっぱり、浅野温子さんは。
浅野 さんまさんて、いつもグサグサ刺され
てるでしょ？
さんま いや、僕はものすごい気に入られてます
から。
浅野 えーっ！嘘！？ そんな噂、聞いたこと
ない！
さんま 嘘！（立ち上がる）
僕は、ものすごい「人に好かれたい病」
ですから。好かれたくないでしょ？
浅野 え？
さんま 人に好かれたくないでしょ？
(浅野、首を横に振る)
さんま いや、いや。絶対好かれたくないですよ。
浅野 え？何で？
さんま あんな、「コーヒー温かいの、飲みたい
のよねえ」って。普通の女子、好かれた
い人は、温めに行くじゃないですか？
「私が行く、行く」って。
浅野 うーん。だって、家の中、わかんないし。
さんま いや、そこにあるやん。
浅野 家に、あんま、触っちゃいけないじゃな
い？
さんま 温かいの欲しい、って言わないじゃない
ですか？ 本番中に！
浅野 何で？ 本番終わったら、ねえ。もう、
飲めないじゃない、ねえ？ 終わったら、
もう終わりじゃん！
さんま あなたの口を封じるのは、キスしかない
ですね！

4. ホンマでっかTV

制作局：フジテレビ

放送時間：毎週水曜日21:00～21:54（通常放送）

11G094 近藤拓真 11G179 林広大

11G065 加藤嘉剛

番組内容⁶

【司会、進行役】明石家さんま、加藤綾子（フジテレビアナウンサー）

【パネリスト】植木理恵、おおたわ史絵、尾木直樹
世の中で国民が話題にしているものやうわさについて、意外と知られていない情報を、一つの専門分野を突き詰めて研究し、個性的な⁷大学教授や専門家らが発信していくトーク番組。

2012年4月25日の放送内容

女同士のウラの顔スペシャル

「知らないとヤバイ！同じ穴のホンマでっか!？」

テーマ：ママ友

出演者：明石家さんま 加藤綾子 ブラックマヨネーズ 磯野貴理子 マツコ・デラックス ダイアモンド ☆ユカイ いむらきよし 植木理恵 牛窪恵 おおたわ史絵 大柳葵理絵 尾木直樹 重田みゆき 白鳥早奈英 諏内えみ 又野尚ほか

女同士のウラの顔 SP その1

植木 集団自浄機能であって、女性4人揃うと持つと言われてるんです。4人の集団でいると、ストレス値が凄いでっかっているんです。男性は4人揃うと、結論を出そうとするんです。

さんま 我々4人揃うと、取り敢えず麻雀しようか、ってなりますね。

植木 女性は、バラバラにそれぞれ好きな事言い放って、結論出さずに終わる。

小杉 女の人、自分の事ばっか言って、何も解決してないですけど、それでいいんですね？

さんま そうそう、「何々ちゃん、可愛いよね？」「でも、このピーマン美味しい」とか、会話になってない。

植木 それでいいんです。ストレス値が下がっているんです。

おおたわ 奇数だと駄目なんですよ。3人だと、2対1になって、苛め始めるんです。だから、1人多く雇ってでも、偶数にした方がいいんです。

その2

重田 顔が似ている友達が、相談相手にいると、彼氏、彼女ができにくいんです。

ダイア それは、遠い親戚ってこと？

重田 そうなんです。親から言われると、信じちゃうのと同じで、自分に顔が似ていると、「あの人遊んでいるよ」とか言われると、信じてしまって、なかなか彼氏、彼女ができないんです。

マツコ わかる。私、伊集院さんの言葉は、すんなり入ってくるんだよね。全面的に信じちゃう。

—中略—

重田 信頼だけではなく、過大評価してしまうんです。

おおたわ 女性は、決定的に嫌いという女性は、自分と凄く似ていることがあります。

さんま 親子喧嘩でも、そうやね。似ているから、むかつくって。

植木 女性は、同じ分野が得意だと、評価が厳しくなる傾向があるんですね。

さんま そうか。女の人って、凄い素敵な女でも、1個は悪く言うよね。「あの人、

⁶ 適宜、岩田が「七転八起」(<http://blg.mania-info.com/>)を参照、引用。補足した。

⁷ ここからは、いかにもありそうな、〈大学教授〉のイメージが透けて見えてきそうである。番組を見たことはないが、様々なイメージを知るためのテキストにもなるかもしれない。

スタイルも顔もいいけど、声が変わよね」
とか、1個悪いとこ見つけようとする。

小杉 女の人って、ややこしいですね。
尾木 女の人って、変な生き物よね。

2012年5月30日の放送内容

最新婚活事情を徹底解明！

「ホンマでっか!? 人生相談」, ゲスト：渡部篤郎
出演者：明石家さんま 加藤綾子 島崎和歌子 ブ
ラックマヨネーズ マツコ・デラックス 磯山さや
か 大久保佳代子 NANA 阿部知代（フジテレビア
ナウンサー） 渡部篤郎 池田清彦 植木理恵 植草
美幸 牛窪恵 金子哲雄 澤口俊之 武田邦彦 児玉光
雄 テレンス・リー 川田浩志 中川洋一 ほか

part1

澤口 ちっ。
さんま 澤口先生、牛窪先生が一生懸命に喋ってるのに、ちっ、ちっ、って、あの。
澤口 違いますよ。
さんま その、先生のデータもわかりますが、
澤口 違いますよ。
さんま そこを排除したあとから、入ってはる人が多いんですよ。
澤口 だから、自信がねーやつは、ハッキリ言って、結婚なんかするな、って言いたい。
女性陣 えーっ！ それはひどいよー。
さんま 調子悪い、調子悪い。
女性陣 調子悪いでも、何かもっとあるでしょー！
さんま いや、ほいでまた、大久保だけに、そんなこと言うのは失礼やよな。
大久保 あたしに言ったの～！？ あたしだけに言った、今？ みんなでしょ？
他の女性陣 じゃあ安心だ。じゃあ、いっか。
澤口 いいですか。あくまでも、さんまさ

ん、これ、あくまでも男性が、って意味です。

さんま なるほどー。
澤口 男性が自信・・・
さんま そっか、そっか。要するに、男で、自信ない奴は結婚するなど。
澤口 女性が男性を選ぶ、っていうのが、基本的な形ですよな。
さんま なるほどね。
澤口 ほいで、男性が女性を選ぶ、つてのが入ってるので、人間の恋愛って、こう、ややこしくなってるんですけど、基本、女性が男性を選ぶので、選ばれない男性つてのは、要するに、いなきゃいいんですよ。

Part2

金子 あの、実はですね、結婚できない女性の特徴、っていうのがあるんですが、それね、「3過ぎ女性」って言われてるんですね。
女性陣 なになに？
金子 3過ぎ、これね、美しすぎ・・・
さんま 美しすぎやで、よかった、よかった。おまえ、何、入ってんの？
大久保 一個、通過しちゃった。こわい、こわい。
金子 美しすぎ、行きますよ。面白過ぎ、稼ぎ過ぎ。この女性つてのが、婚期が遅れる傾向が非常に強いんですよ。
さんま そやろね。
金子 僕、女性週刊誌の編集者の方なんかとずっと話をしていて、「婚期遅れる方の特徴ってありますか？」と言ったら、美し過ぎに関しましては、男性がそれだけの美しさを維持するためには、やはり、美容コストがかかるし、やはり、経済力が必要じゃないかと思うんですよ。
さんま あー、なるほど。
女性陣 そんなことないよ。全然、ナチュラル、

ナチュラル.

金子 で、面白過ぎに関しては、普通の会話で、全然面白いのであれば、日常的に、今度、自分は妻よりも面白いことをしなきゃいけないんじゃないか、っていうことで・・・

女性陣 いや、そんなことない、そんなことないよね。全然おもしろくない、私たち。

金子 稼ぎ過ぎに関しては、妻はこれだけ稼ぐんだったら、やっぱり、俺も男のプライドがあるから、もっと稼がなきゃいけないんじゃないか、っていうことで、やはり、仕事もこれ以上頑張らなくてはならない、っていうような。すべてが過ぎていると、やはり、プレッシャーになってしまっ、逆に、男性が近づき難い存在になっている。

さんま そりゃー、もう、普通に考えても、そうやよね。

方に特徴があるのですけれども、女友達のいない女性が、だまされやすいと言われています。

女性って、その、まあ、同世代の同性の話に一番耳を傾けるんですよ。そうかも、そうかもって。お母さんや、お父さんとかの話よりも、お友達の話に説得されるんですけれども、彼が、そのお、お金を貸してくれて言われた時に、それを友達に言ったら、「何それ？」って、めちゃくちゃ辛く言ってくれるじゃないですか。ですから、ちゃんと、こう、ジャッジできるようにになるので、結婚はしにくくなるけれども、だまされは、しにくくなるんですよ。

さんま なるほど。的確なジャッジをしすぎて、結婚しにくくなるんだ。

植木 そうですね。そうですね。

さんま よしあしだね。

2012年6月13日の放送内容

ホンマでっか!? ランキング

「二股がバレた時に、彼女に何とか許してもらう方法ランキング」

先週に引き続きベスト3を発表!

レギュラートーク「ダマされる女 SP」

出演者:明石家さんま 加藤綾子 ブラックマヨネーズ (小杉竜一 吉田敬) マツコ・デラックス 磯野貴理子 島崎和歌子 森泉 スザンヌ 新山千春 橋本志穂 羽野晶紀 松居一代 池田清彦 植木理恵 牛窪恵 尾木直樹 門倉貴史 児玉光雄 澤口俊之 武田邦彦 テレンス・リー 藤田尚弓 ほか

だまされやすい女 SP

植木 だまされやすい女性の、だまされてる、って気づかないタイプの女性の、生活の仕

松居 先生、お肌ツルツルですよ8。

ブラ 小杉 話、バラバラやないかい、おい。

門倉 紫外線を、紫外線を・・・

小杉 話、全然聞いてませんやん、松居さん。

ブラ 吉田 答えてるで。ほんで、肌ツルツルの理由を。

小杉 のせられんなよ、松居さんに、話、門倉先生。

羽野 えっ! ずっと、こもってるの? 部屋にこもってるから?

門倉 日傘とかをさして。

さんま 日傘さして!?

松居 日傘さしてるの?

小杉 肌の話で盛り上がりつつあるのかい、おい!

さんま 男のくせに、日傘さして歩くなよ!

8 以下の箇所、具体的コーナー不明。文脈もはっきりしないが、紫外線を避けるために日傘をさす話らしい。部屋でもさすことに話題を移して、冗談めいた話にしながら、最後に男が日傘をさす、という言及にジェンダー観が露呈するところを学生たちは導き出したかったのだろうと推測する。